

# 平成31年度事業計画書

平成31年3月

公益財団法人 長崎県健康事業団

# 平成31年度事業計画

当事業団は、公益目的事業の「疾病の予防及び健康の保持増進、救急医療の確保及び腎臓等臓器移植の推進」に関して、より一層の推進を行い、県民の公衆衛生の向上に取り組んでいく。

具体的には、県民の疾病予防・健康の保持増進、救急医療の充実、腎臓等臓器移植の円滑な推進等を図るため、引き続き、県や市町・長崎大学・県医師会等関係機関のご指導とご協力を得ながら健康診断事業や各種検査を行うとともに、救急医療情報システム運営事業及び臓器移植対策事業を実施する。

とりわけ、健康診断事業については、県内全域の人口減少に加え、住民健診における集団健診から個別医療機関健診への移行並びに事業所健診での大手企業の委託先変更などにより受診者数がさらに減少する一方、検診車両の老朽化も著しく、当事業団の経営環境・経営収支は極めて厳しい状況となっている。

このため、平成31年度は、風疹抗体検査の受託をはじめ、特定健診への社会保険被扶養者等の受入れ促進、事業所健診の新規受託獲得等に積極的に取り組み、受診者数及び事業収入の拡大を図るとともに、今後の安定的な経営基盤の確保に向けて、抜本的・年次的な視点で収支改善や営業強化、業務の効率化等に取り組む「経営改善計画」を策定し、実効的な計画推進を図っていく。

## (1) 健康診断の推進

広く不特定多数の県民の健康診断の受診機会の拡大が図られるよう、県・各市町や地元医師会等と連携しながら、特定健診、各種がん検診、結核検診、学校検診、職域健診、先天性代謝異常検査などの健診・検査を実施し、疾病の予防対策や病気の早期発見等に寄与していくとともに、健診データの調査分析及び研究を行い、地域性や時代特性を踏まえた情報発信及び啓発活動を行っていく。

また、国が掲げる特定健診受診率70%以上並びにすべてのがんで検診受診率50%以上の目標達成に向けて、市町と連携して、効率的な個別の受診勧奨・再勧奨事業などへの協力を積極的に行うとともに、子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券を配布された住民に対して、がん検診の効果的な実施に貢献していく。

なお、国は風疹の特別対策として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日に生まれた男性を対象に平成31年度から3年間、原則無料で風疹抗体検査を行うとともに、必要な方へワクチン接種を実施することとしており、当事業団としても自治体の特定健診や企業の職場健診等における抗体検査の受託に積極的に取り組んでいく。

## (2) 精度管理の充実と健診サービスの向上

質の高い健康診断事業や各種検査を行うために、下記の項目を実施する。

- ① 健診・検査機関として、重要な個人情報を取扱うため、平成30年10月に5度目の更新を受けた「プライバシーマーク」については、引き続き、適切な管理体制の下、職員への個人情報保護の教育・研修会等を開催し、個人情報の適正な取得・利用・管理に取り組む。
- ② 精度管理については、平成29年2月に3度目の認定更新を受けた、労働衛生サービス機能評価機構の優良認定施設として、引き続き、各種研修会に技術職員等を計画的に参加させ、最新の健診技術、人材の育成、機器の管理、システムの充実を行い、質の高い健診サービスの提供・充実に努める。さらに、平成31年度には、4度目の認定更新を行い、質の高い健康診断サービスが提供できる取り組みの充実を図っていく。
- ③ 長崎県より委託を受けた「がん検診事業評価及びがん検診精度管理事業」により、がん検診の各種データを整理・分析して各指標を作成するとともに、全国との比較分析を行い、県のホームページにリンクして広く公表する。
- ④ 当事業団で実施した「がん検診」の要精密受診者について、病院での受診状況を確認するとともに、未受診者に対し受診勧奨を実施する。
- ⑤ より質の高い健診を提供し受診者から選ばれる健診機関を目指して、平成31年度も引き続き、接遇向上委員会を開催し、接遇・マナーの向上に努めていく。

## (3) 救急医療対策の実施

「救急医療情報システム」の管理運営を行うとともに、救急搬送患者の状況を解析するため、救急搬送事後検証票のデータ入力・集計を行う。

## (4) 臓器移植対策の実施

公益社団法人日本臓器移植ネットワーク及び協力医療機関等と連携して、臓器

提供について協力依頼を行うとともに、出前講座・街頭キャンペーン・臓器提供意思表示カードの配布等による啓発活動を行う。

臓器移植希望者の負担軽減を図るため、腎臓・肺臓・肝臓・膵臓の移植希望者に対して、日本臓器移植ネットワークに支払う新規登録料の一部助成を行う。

#### (5) 普及啓発事業

##### ① 結核予防週間（9月24日～9月30日）

結核予防の推進ため、パンフレット・ポスターの配布、パネル・ビデオ等の資材貸出しなどを行う。

##### ② がん征圧月間（9月1日～9月30日）

がん予防の推進ため、パンフレット・ポスターの配布、パネル・ビデオ等の資材貸出しなどを行う。また、ピンクリボン活動（乳がん予防啓発活動）への協力を積極的に行う。

##### ③ 県民の「特定健診」や「がん検診」の受診率アップ対策として、「がん総合デジタル検診車」及び平成29年1月に日本宝くじ協会の全額助成を受けて整備した新型「胸部デジタルX線検診車」の車体メッセージや新聞広告などを積極的に活用した各種広報活動を実施し、受診率向上に努める。

##### ④ ホームページにおいて、当事業団の事業活動及び健康に関する最新の情報を更新し県民の皆様へ提供していく。

(6) 「健診・検査年間計画」は、次のとおりである。

## 《健診・検査年間計画》

(単位：人)

健診・検査項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	実績	実績	実績	実績見込(a)	見込(b)	増減(b-a)
一般検診	339,946	336,067	324,936	319,085	321,860	2,775
特定健康診査	46,597	44,047	44,374	44,317	45,230	913
事業所健診	103,185	102,885	96,889	96,438	99,140	2,702
メンタルヘルス	-	7,847	7,132	5,946	5,950	4
結核健康診断	135,152	132,088	129,248	126,938	127,830	892
原爆健診（一般）	4,489	4,074	3,520	2,986	2,530	▲ 456
学童健診	50,523	45,126	43,773	42,460	41,180	▲ 1,280
胃がん検診	28,071	25,694	25,174	24,591	25,070	479
子宮がん検診	17,464	17,066	16,860	16,482	16,470	▲ 12
乳がん検診	18,774	18,434	18,619	18,148	18,040	▲ 108
肺がん検診	41,482	39,426	39,092	37,368	35,720	▲ 1,648
大腸がん検診	41,252	39,470	40,372	41,441	42,970	1,529
骨粗鬆症予防健診	2,022	2,090	2,297	2,375	2,450	75
腹部超音波検査	7,492	5,903	5,800	5,700	6,280	580
ヘリコバクター ピロリ抗体検査	282	625	1,060	1,476	1,480	4
胃がんリスク検診 （ABC検診）	981	2,660	2,591	1,980	1,980	0
風しん抗体検査	0	0	0	0	5,000	5,000
健診小計	497,766	487,435	476,801	468,646	477,320	8,674
前年比	-	97.9%	97.8%	98.3%	101.9%	-
先天性代謝異常検査	12,363	12,062	11,732	11,652	11,570	▲ 82
検体受託検査	1,229	1,211	1,134	1,100	1,060	▲ 40
検査小計	13,592	13,273	12,866	12,752	12,630	▲ 122
総合計	511,358	500,708	489,667	481,398	489,950	8,552

## 資金調達及び設備投資の見込について

### (1) 資金調達の見込について

#### ▼長期借入金

借入先	金額	使 途
市中銀行	20,000,000 円	画像管理システム（1台）

### (2) 設備投資の見込について

#### ▼当期中の重要な設備投資

設備投資の内容	予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
画像管理システム (画像サーバー含む)	29,970,000 円	借入金 2,000万円 自己資金 997万円
健診機器更新	30,000,000 円	自己資金 3,000万円
計	59,970,000 円	